



Weekly Report

第2253例会 2019年1月30日 国際ロータリー第2580地区

東京武蔵村山RC
第47代クラブ会長
倉内 淳

2018~19年度RI会長 バリー・ラシン 第2580地区ガバナー 松坂 順一 (東京葛飾東RC)

東京武蔵村山RC テーマ

『親睦・研修・実践』 基本に立ち返り、素晴らしいロータリーライフを!

本日の例会

卓話 藤重 貞慶 氏
(ライオン株式会社相談役)
「生涯現役時代を支える
口の健康について」

2018~19年度RIテーマ



次回の例会

全員クラブ協議会

【第2252回例会週報】 2019年1月23日 (水)

司会 酒寄 好夫 会場運営委員長

点鐘 倉内 淳 会長

斉唱

我等の生業
ソングリーダー
嶋田 哲男 副会長



出席報告

会員数	出席者数	出席率	前々回出席率修正
34名	20名	72.41%	90.32%→93.55%

- 比留間 孝司 会員 (地区米山委員会)
藤野 豊 会員 (地区連絡会)
- メーカーキャップ 第2250回例会
野島 征 会員 (東大和RC)
- 榎本 昭 会員 原田 友義 会員
宮崎 恒夫 会員

会務報告 倉内 淳 会長

- RI人頭分担金請求書が届いております。
・112円×1,056ドル=118,272円
- 米山奨学会より下期普通寄付金納入のお願いが届いております。(2月末まで)
- 地区人頭賦課金請求書が届いております。
・地区運営費、事業費231,000円+青少年交換プログラム資金49,500円=280,500円

会務報告続き…

- 次年度地区チーム(役員・委員)就任依頼書が届いております。
・藤野豊会員 (地区拡大増強委員・地区RLI委員)
・比留間孝司会員 (地区資金推進委員・地区学友会委員)
・金井一三会員 (地区青少年奉仕委員)
- 青少年奉仕情報第33号が届いております。
- 日本青少年交換研究会より「金沢会議」のご案内が届いております。
- 韓国・大邱市での第20回RI囲碁大会のご案内が届いております。
- ハイライトよねやま226号が届いております。
- 文京区職場体験発表会のご案内
・日時:2/1(金)14時~
・会場:文京シビック小ホール 入場無料
- 地区大会(2/21)事務局派遣のお願いが届いております。
- 第5回多摩分区連絡会のご案内
・日時:2/15(金)16時~
・場所:BIG BOX東大和 *※切2/8(金)
- 東名古屋分区長瀬ガバナー補佐(守山RC)より多摩分区IM「DVD」送付の御礼状が届いております。

幹事報告 比留間 一義 幹事

- 報告はございません。



委員会報告

○新海 正人 米山奨学委員

・米山特別寄付現在20名にご寄附頂いております。あと13名です。是非お願い致します。

○佐藤 貢 職業奉仕委員長

・来週、卓話講師でお見えになるライオン(株) 藤重様、少し早めに来て大勢の方でのお迎えをお願い致します。

卓話



「四つのテスト」
倉内 淳 会長

～四つのテスト その由来をひもとく～

1. 今から80年以上も前の大恐慌のさなか、一人のロータリアンが4項目からなる簡明な倫理指針を考案しました。この指針は、窮地にあった彼の会社を救うのに役立ったのです。この指針が表現していた内容や信条はまた、他の多くの人達に対しても、倫理的羅針盤を提供することになりました。やがて、国際ロータリーによって採用され、広く知れ渡ることになったこの四つのテストは、今日ではロータリーの基本理念の一つとなっています。今世紀におけるロータリーの最も素晴らしい声明の一つと言ってもよいでしょう。この四つのテストの創案者であるハーバート J. テーラー (ハーブ) は、やり手で卓越したセールスマンであり、人の上に立つ人物でした。ハーブは行動家で信仰心が厚く、道義を重んじる人物でした。彼の倫理訓について構想をめぐらせたハーブは最初、およそ100語からなる文章をしたためましたが、これは長すぎると判断しました。そこで更に推敲を重ね、それを7つの項目にまとめたのが、七つのテストだったのです。しかしこれでも長いと考えた彼は、それを自問形式の4項目にまとめ上げました。
2. 次にハーブは、できあがった項目を社の4部門の部長にはかりました。その4人は自分たちの宗教上の教義に反しないばかりでなく、私生活ならびに職業人としての生活の模範的指針になるものであることで意見の一致を見ました。このようにして「言行はこれに照らしてから」の四つのテストが誕生したのです。
3. 簡潔さの中に深い意味を包含するこのテストは、事の大小にかかわらず、クラブ・アルミニウム社が諸事決定を下す際の基本となったのです。
4. 四つのテストは、徐々に同社のあらゆる面における指針となっていき、ディーラーや顧客、そして従業員の間にも、同社に対する信頼と好意が生まれることになりました。

四つのテストは、社風の一部となり、やがてクラブ・アルミニウム社に対する信望は高まり財政の改善に寄与することとなったのです。

5. 1942年、当時の国際ロータリー理事のシカゴのリチャード・ベナー氏が、ロータリーもこのテストを取り入れるべきだとの提案をしました。RI理事会は1943年にこの提案を承認し、四つのテストを職業奉仕プログラムの一つの構成要素としました。
6. 現代社会が今一番必要としているものは倫理的誠実さであると言ってもいいでしょう。四つのテストは、人々が価値のある目標を追い求める際の指針として活用できます。その目標とは、友人を探し選び、その友人関係を維持すること、周りの人達と友好関係を築くこと、幸福な家庭生活を作り上げること、高い倫理的・道徳的規準を設定し身につけること、自ら選択した事業や専門職で成功を収めること、より良き市民となり、次の世代にとっての良き手本となること、といった事です。簡潔さの中に多くが語られ、感動的なまでに力強く、実のある成果を必ずもたらすこの四つのテストは緊張と混乱と不確実性に満ちたこの世界のただ中に、清新で明るさにあふれた未来展望を与えてくれるのです。



ニコニコBOX (小澤 秀人 親睦委員)

* 今回ニコニコはございませんでした。

◆ 今回計 0円 累計 817,000円

～ 第37回多摩分区交流会 (若手の会) ～ 1/23 (水) 平成の間 19時～21時



司会：比留間一義幹事



代表挨拶：倉内淳会長



乾杯：木下様 福生RC



東京青梅RC



東京福生RC



東京秋川RC



ゲスト3名 (当クラブから出席)
川島様、齋藤様入会宜しくお願いします。



締めの挨拶：嶋田副会長

